

令和7年度事業報告

公益社団法人千葉県獣医師会定款第2条に規定する目的を達成するため、定款第3条に規定する事業として、令和7年度において次に掲げる事業を実施した。

公益目的事業1：人と動物の共生する社会環境の健全な発展を目的とする事業

本事業は、人と動物の共通感染症を予防し公衆衛生の向上を図り、また、動物の習性や正しい飼い方等を啓発し、動物の愛護精神を高揚し人と動物が安心して暮らせる社会環境を整えていくと共に、家畜の伝染病等や食中毒等を予防し、安全・安心な畜産物を生産・流通させることにより、県民の食生活の向上に寄与することを目的とし、次の事業を行った。

1. 公衆衛生の向上に関する事業

人と動物の共通感染症である狂犬病は、罹患した犬等に咬まれることにより人が感染し、発症するとほぼ100%死亡する大変恐ろしい病気である。狂犬病の人への感染を防ぐ目的で狂犬病予防法が施行され、犬の登録、予防注射が義務となった。予防注射の実施には、市町村が運営する定期集合注射と動物病院で行う個別接種とがある。定期集合注射では、市町村職員が同行するため会場で犬の登録及び注射済票の交付を受けることができるが、動物病院の個別注射では、その場で犬の登録及び注射済票の交付を受けることができない。このため、動物病院において当該犬の飼い主に対し、犬の登録方法や注射済票の交付について指導することにより、畜犬登録の促進を図ることを目的に、市町村との委託契約を結び畜犬登録促進指導事業を実施した。また、飼い主の負担軽減を目的に、市町村との委託契約により、個別注射した動物病院が犬の登録や注射済票の交付を行う病院登録業務委託事業を実施した。

人と動物の共通感染症については、獣医師会のHPに公開し、また、公開講座等により予防について普及・啓発をおこなった。

(1) 狂犬病予防定期集合注射事業

【実施実績】

注射実施頭数	令和7年度	令和6年度
	31,835 頭	33,578 頭

※ 詳細は 別途掲載『令和7年度狂犬病予防集合注射実施頭数（市町村別）』参照

(2) 狂犬病予防動物病院注射事業

【実施実績】

注射実施頭数	実施動物病院数	注射実施頭数
	延べ 256 病院 実 93 病院	27,190 頭

(3) 畜犬登録促進指導事業

【実施実績】

指導登録頭数	令和7年度	令和6年度
	168 頭	231 頭

※1 契約締結市町村数：17 市町

※2 詳細は別途掲載資料『令和7年度畜犬登録促進指導事業実績』参照

（４）会員病院における犬の病院登録業務（鑑札・済票交付）委託事業

【実施実績】

病院登録頭数	令和７年度	令和６年度
	鑑札 1,041 頭、済票 21,947 頭、 ワンストップ 445 頭	鑑札 1,080 頭、済票 22,272 頭、 ワンストップ 405 頭

※1 契約締結市町村数：４市（千葉市、旭市、市原市、東金市）

※2 詳細は別途掲載資料『令和７年度会員病院における犬の病院登録業務委託事業』参照

２．動物の保護活動事業

動物愛護・保護精神の醸成、犬猫殺処分ゼロの実現、傷病野生鳥獣や負傷動物の救護による社会福祉への貢献などの公益活動を行った。

（１）動物愛護精神の啓発・普及推進事業

動物愛護週間行事の一環として県や市町村・日本獣医師会・各地域獣医師会等が開催する動物愛護フェスティバル等に共催・協力し、動物のしつけ方や健康相談等を通じて動物の正しい飼い方、保護管理等について啓発した。

【実施実績】

行 事	内 容 等	
日獣 2025 「動物感謝デー」 in JAPAN “World Veterinary Day”	出展	令和 7 年 11 月 15 日（土） 上野恩賜公園
千葉県「なかよし動物フェスティバル」	協賛	令和 7 年 9 月 28 日（日） イオンモール成田
千葉市「動物愛護フェスティバル」	共催・協賛	令和 7 年 9 月 14 日(日) 千葉市役所
船橋市「なかよし動物フェスティバル」	後援	令和 7 年 9 月 20 日(土) イオンモール船橋
市川浦安地域獣医師会関連市「動物愛護関連事業」	協賛	愛犬愛猫家表彰等
柏の葉オータムフェスタ	協力	令和 7 年 10 月 19 日（日） 千葉県立柏の葉公園

（２）飼い主のいない猫不妊去勢事業

千葉県が、飼い主のいない猫の繁殖を防ぎ猫の殺処分の減少を図るため、市町村が実施する不妊去勢手術等の取組に係る経費を助成する事業について、事業に参加する市町村との委託により本会動物病院で手術を実施するものであるが、令和 7 年度、市町村からの県獣への委託はなかった。

(3) マイクロチップ普及推進事業

会員動物病院において、飼い主に対しマイクロチップ埋め込みの指導を行い、マイクロチップの普及推進を図ると共に、日本獣医師会の動物適正管理個体識別登録等普及推進事業においてマイクロチップを埋め込んだ犬猫等の個体識別データを登録するデータベースに本会が動物の飼育者に代わってそのデータの登録申請を行った。

【実施実績】

申請受付概要	令和7年度	令和6年度
登録申請受付病院数	34	49
マイクロチップ登録申請数	186	379

※ 平成30年9月1日に日本獣医師会と個体識別データの登録に関する覚書を締結済み、平成30年11月6日より、登録申請受付事務開始、1頭当たり登録手数料：1,000円、10月1日より、消費税額変更により、1,050円

※ 別途掲載資料『令和7年度マイクロチップ登録実績』参照

(4) 傷病野生鳥獣救護事業（県委託事業）

千葉県からの委託事業で、県民が保護した傷病野生鳥獣を治療し回復するまでの一定期間保護をすることを通じて、広く県民に鳥獣保護思想の普及・啓発を図った。

【実施実績】

業務内容	令和7年度	令和6年度
保護・搬入された傷病野生鳥獣の応急処置	件数：鳥類102件 獣類9件 死亡処理 0件 費用：579,744円（助成）	件数：鳥類124件 獣類4件 死亡処理 0件 費用：491,980円（助成）

※ インボイス登録ありの場合：鳥1件4,862円、獣1件9,724円、死亡処理1件1,500円

インボイス登録なしの場合：鳥1件4,774円、獣1件9,548円、死亡処理1件1,473円

※ 指定獣医師 52病院、54名

※ 別途掲載資料『令和7年度動物の保護活動関連助成一覧 傷病野生鳥獣救護』参照

(5) 負傷動物救護事業

飼養者不明な犬・猫等の動物が公共の場所で疾病に罹りあるいは負傷した場合、動物愛護センターに収容されるまでの間の救急診療を行った場合に、会員動物病院に対しその費用の一部を助成した。

ア) 県獣単独事業

【実施実績】

業務内容	令和7年度	令和6年度
保護・搬入された飼い主不明動物の応急処置	16頭、59,944円	12頭、51,516円

※ 1頭当たり助成額：上限5,000円（保護した人等の診療費用軽減：動物病院へ支出）、対象：開業会員病院

※ 別途掲載資料『令和7年度動物の保護活動関連助成一覧 負傷動物救護』参照。

イ) 柏市委託事業

【実施実績】

業務内容	令和7年度	令和6年度
保護・搬入された飼い主不明動物の応急処置	46頭、457,893円	40頭、583,368円

※ 診療内容ごとに単価設定あり。対象：柏市内開業会員病院、柏市に隣接する市内開業会員病院

※ 別途掲載資料『令和7年度動物の保護活動関連助成一覧 負傷動物救護（柏市委託事業）』参照

（６）千葉県動物愛護センターにおける収容動物の健康管理等業務委託事業（千葉県委託事業）

千葉県動物愛護センター本所及び東葛飾支所に収容された犬猫等並びに県内各保健所が一時保管した犬猫等の健康管理や治療等を千葉県からの委託を受けて会員獣医師が実施することにより、更なる譲渡促進に貢献した。

【実施実績】

場 所	業務内容	令和7年度	令和6年度
動物愛護センター本所	健康管理、指導等	15回	12回
動物愛護センター支所	健康管理、指導等	13回	13回
動物病院	治療、手術等	32回	24回

3. 安全な畜産物及び食品の生産・流通に関する事業

産業動物の伝染病予防・診療・治療及び公衆衛生などの業務に携わる獣医師を対象とした研修会等に対し費用の一部を助成することにより、獣医畜産学術の振興普及、獣医療技術の研鑽を図り、獣医事衛生並びに公衆衛生の向上に寄与した。また、家畜伝染病発生時に県が行う防疫対策業務に協力することにより、家畜伝染病の蔓延防止を図った。加えて、県内における高病原性鳥インフルエンザの続発時（随時実施）に県が行う農場バイオセキュリティの緊急点検に協力することで家畜伝染病の発生予防を図り、畜産物生産の安定化に寄与する。さらに、イノシシやシカの衛生実態調査を行い、畜産農家の野生獣防除対策を推進すると共に、安全なジビエ肉の流通・販売に寄与した。これらにより、畜産の振興並びに安全・安心な畜産物の生産・流通を図り、国民の食生活の向上に寄与した。

（１）畜産関係研修事業

公職農林部会並びに共済部会に所属する産業動物、畜産関係獣医師で構成される千葉県家畜衛生職員会及び千葉県農業共済組合が行う研修会等に対し費用の一部を助成し、畜産技術者の衛生技術の習得に寄与した。

【実施実績】

ア）公職農林部会（千葉県家畜衛生職員会）

開催月日	会議名等	開催場所等
令和7年8月12日（火）	家畜衛生講習会伝達講習会 演題：基本講習会 講師：東部家畜保健衛生所 蒲生 汐理 南部家畜保健衛生所 吉浦 風輝 演題：鶏疾病特殊講習会 講師：南部家畜保健衛生所 瀧口 由貴 演題：牛疾病特殊講習会 講師：西部家畜保健衛生所 五十嵐 直子 演題：豚疾病特殊講習会 講師：東部家畜保健衛生所 角田 千春 演題：総合講習会の振り返りについて 講師：東部家畜保健衛生所 島田 純	場所：千葉県自治会館 参集範囲： 家畜保健衛生所他 43名参加
令和8年3月5日（木）	病性鑑定検討会 （１）特発性血小板減少性紫斑病について （２）鶏大腸菌症について （３）食塩中毒について （４）カビ毒について （５）牛ウイルス性下痢について	場所： 東部家畜保健衛生所 参集範囲： 家畜保健衛生所他 16名参加

イ) 共済部会（千葉県農業共済組合）

開催月日	会議名等	開催場所等
令和8年1月29日（木）	第1回技術懇談会 テーマ：乳中脂肪酸組成について 演題：乳中脂肪酸組成について（総論） 講師：フィード・ワン株式会社 研究所畜産研究室 養牛課 望月 伸二 先生 演題：乳中脂肪酸組成を用いた飼養管理改善事例 講師：フィード・ワン株式会社 関東支店 乳牛課 今泉 舞美 先生 岡 竜之介 先生 演題：NOSAI 千葉若手獣医師とのケーススタディ	場所：北部家畜診療所 参集範囲： 農業共済獣医師他 22名参加
令和8年2月26日（木）	第2回技術懇談会 テーマ：正しい検査結果を得るために ～私たちができること～ 演題：臨床現場に活かす細菌検査 - 当施設における検査体制と薬剤感受性データの活用法について - 講師：株式会社サンリツセルコバ検査センター 露木 勇三 先生 演題：検体送付の注意事項 講師：株式会社サンリツセルコバ検査センター 清沢 好男 先生	場所：中央家畜診療所 参集範囲： 農業共済獣医師他 13名参加
令和8年3月11日（水）	第3回技術懇談会 講演：子牛と育成牛の飼養管理 講師：明治飼糧株式会社 研究開発部 顧問 大坂 郁夫 先生	場所：中央家畜診療所 参集範囲： 農業共済獣医師他 24名参加

（2）家畜伝染病発生時における防疫対策業務

千葉県との「家畜伝染病発生時における防疫対策業務に関する協定」に基づき、高病原性鳥インフルエンザ等の防疫対策に協力した。

期間	人数（延べ）	内容等
令和8年1月27日	2	家きん卵出荷のための検査
令和8年2月20日	2	家きん卵出荷のための検査

（3）畜産振興事業

県内畜産関係団体等が主催する家畜共進会、畜産物消費拡大イベント等に協賛もしくは共催するのと併せて獣医師会長賞を交付し、畜産の振興・発展を図った。

【実施実績】

開催月日	共進会等名	主催団体	内 容
令和7年10月2日（木）	令和7年度千葉県肉豚共進会	（公社）千葉県畜産協会	協賛（副賞）
令和7年12月9日（火）	馬事畜産振興協議会 ハートビートカップ競走	（公社）千葉県畜産協会	負担金

（４）獣医公衆衛生事業対策推進事業

公職衛生部会に所属する保健所や食肉衛生検査所に勤務する獣医師で構成される千葉県食品衛生研究協議会、千葉市獣医師協議会及び千葉県食肉衛生検査所協議会が実施する講習会の開催、学会等の参加に対し費用の一部を助成し、公衆衛生技術者の技術の習得に寄与するものであるが、事業の利用はなかった。

（５）野生獣衛生対策促進事業（中央畜産会助成）

家畜衛生関係者を中心とした野生獣被害の情報発信体制を構築、推進するとともに、野生獣被害の主となるシカ、イノシシについての衛生実態を把握し、畜産農家等の飼養衛生管理に対する意識の向上を図り、野生獣衛生対策の推進に取り組んだ。

【実施実績】

活 動	回数	内容等
地域衛生技術連絡協議会開催 8、3 月	2 回	対象；地域の畜産関係機関、団体等
野生獣関連感染症、自然との共生講習会 8、3 月	2 回	対象；地域の畜産関係機関、団体等
野生獣の衛生実態等調査	20 回	野生獣（シカ 10 頭、イノシシ 10 頭）の調査、材料採取、検体送付等

（６）獣医師養成確保修学資金給付事業（農林水産省公募事業）

千葉県の産業動物公務員を志望する獣医学生に対し奨学金を給付し、安定的に獣医職員を確保することにより、県の防疫力の強化を図り、もって、国民の食の安心安全を担保するとともに、畜産物の安定供給に寄与する。

【実施実績】

	4 年生	5 年生	6 年生	給付額
修学資金給付人数	1 名	1 名	0 名	私立大学 月額 1 8 万円

4. 人と動物の絆（ヒューマン・アニマル・ボンド）の確立を目指す事業

人と動物の絆を深めると共に、互いが共生する社会づくりを目指すことを目的に、“ One World One Health ” 理念の実践に向けて、保健衛生（人獣共通感染症の予防等）の向上、人と動物の愛護及び福祉（災害時の動物救護、介助犬の保護等）並びに自然環境の保全（野生動物救護、傷病鳥獣の保護等）を目的とした公開講座、講習会・セミナーを開催すると共に、安全・安心な社会づくり、補助犬の健康維持及び子供や高齢者福祉に貢献する活動を実施した。

（１）公開講座、講習会・セミナーの開催

獣医師だけでなく、獣医療を取り巻いている市民から専門家（学校教育関係者、動物看護師、獣医師等動物取扱関係者）に至る広範囲な職種を対象として、保健衛生（人獣共通感染症の予防等）の向上、人と動物の愛護及び福祉（災害時の動物救護、介助犬の保護等）並びに自然環境の保全（野生動物救護、傷病鳥獣の保護等）を目的として公開講座、講習会・セミナーなどを開催するほか関係機関・団体等の主催したセミナー等を共催し、人と動物の絆についての普及・啓発活動を行った。

【実施実績】

ア）県獣主催セミナー等開催状況

開催月日	セミナー名等	開催場所	内 容
令和7年 9月24日（水）	SFTS 緊急ナイトセミナー	Web セミナー	演題：SFTS 緊急セミナー ～感染拡大をどう対策していくか・ 今後を考える～ 講師：むらた動物病院 村田 佳輝 先生 Web 参加 44 名
令和7年 10月12日（日）	第1回 学術セミナー	ホテルプ ラザ菜の 花	演題：よくある病気を自信を持って診る！ 下痢・便秘・腎臓病・膀胱炎の実践的マネジメ ント 講師：どうぶつの総合病院 佐藤 雅彦 先生 会場参加 50 名
令和8年 1月18日（日）	第1回 実習セミナー （整形外科セミナ ー）	県獣会館	演題：犬の後肢の整形外科 ～股関節・膝関節を中心に～ 講師：日本大学生物資源科学部獣医学科 獣医外科学研究室 教授 枝村 一弥 先生 実習：パワーツールと人工骨を使用した股関節・膝蓋 関節の整形外科 講師：日本大学生物資源科学部獣医学科 獣医外科学研究室 教授 枝村 一弥 先生 会場参加 20 名
第1回 令和8年 1月25日（日）	第1回学術シリーズ セミナー （北部ブロックセ ミナー）	千葉市文 化センタ ー	第1回演題：臨床獣医師が見逃してはいけない犬の循環 器
第2回 令和8年 2月 8日（日）	第2回 学術シリーズ セミナー	ホテルプ ラザ菜の 花	第2回演題：臨床獣医師が見逃してはいけない猫の循 環器 講師：どうぶつの総合病院 高野 裕史 先生 第1回参加 56 名 第2回参加 43 名

イ) 支部ブロックセミナー開催状況

開催月日	セミナー名等	開催場所	内 容
令和8年1月12日(日)	東部ブロック セミナー	ホ テ ル シティ・イ ン茂原	演題 : 犬と猫の咳嗽における診断と治療 ～1次診療でできる呼吸器診療～ 講師 : AMC 末松どうぶつ病院 院長 末松 正弘 先生 参加者 : 38名
令和8年2月1日(日)	西部ブロック セミナー	スカイペ ット専門 学校	演題 : ちゃんと説明できる？ ショックをしっかりと整理しよう！ 講師 : 日本小動物医療センター 参加者 : 31名

ウ) 日本獣医師会生涯学習事業（ポイント取得）

項 目	件数	対象セミナー
日本獣医師会 生涯学習事業 (ポイント取得)	7	① 令和7年10月12日(日) 第1回学術セミナー ② 令和8年1月12日(日) 東部ブロックセミナー ③ 令和8年1月25日(日) 第1回学術シリーズセミナー ④ 令和8年2月1日(日) 西部ブロックセミナー ⑤ 令和8年2月8日(日) 第2回学術シリーズセミナー ⑥ 令和8年3月15日(日) 特別講演 ⑦ 令和8年3月15日(日) 市民公開講座

(2) わんわんパトロール運動推進事業

本会は、千葉県警察本部が実施する「わんわんパトロール」運動に協力し、会員動物病院におけるマイクロチップ埋め込みや診療費の助成を行うことで、参加隊員を募集し、登下校時における隊員の犬の散歩を通じて、学童等を犯罪から守り、安全・安心な社会づくりに貢献することにより、人と動物の絆を深めると共に、互いが共生する社会づくりを目指した。

【実施実績】

登録受付概要	令和7年度	令和6年度
参加登録受付病院数(累計)	184	159
協力隊員(飼い主)数(累計)	1,232	1,157
見守りたいワン隊員(犬)数(累計)	1,590	1,489
助成件数(マイクロチップ装着及び健康診断)	176	149
助成額(円)	183,500	150,500

※1 平成30年度より新規事業として開始

※2 社会福祉委員会でわんわんパトロール運動の参加協力方法検討、実施要領及び隊員特典並びに費用試算

登録した犬に1頭に対して、1回の登録期間3年間において、会員病院でマイクロチップ装着や定期健康診断に要する費用の一部を助成する助成券を交付する。

マイクロチップ装着助成券：(1回分1,500円、1枚)、健康診断助成券：(1回分：1,000円、3枚)

※3 平成30年6月12日に千葉県警察と協力協定を締結後、事業を開始

（３）災害時動物救護対策事業

動物愛護精神及び人と動物の絆を守る観点から、災害時における動物救護体制を構築し、千葉県内又は近隣の県等で被災した家庭動物の迅速で円滑な救護活動の推進を図ることを目的とし、行政当局が企画する防災訓練に参加する等、目的達成のために必要な活動をおこなった。

【実施実績】

（ア）第46回（令和7年度）九都県市合同防災訓練（千葉県会場）

日時	場所	参加者	訓練内容
令和7年10月19日（日）	館山市 国立館山海上技術学校 海上自衛隊館山航空基地	参加者：32名 内 訳 千葉県獣医師会 15名 千葉県健康福祉部 6名 千葉県愛玩動物協会 7名 千葉介助犬協会 2名 （うち学生1名） 館山市職員 2名	ペット同行避難者の受入対応のため、動物救護所を設置し、飼い主と同行避難したペットや放浪犬として持ち込まれた動物の受付、診療、預かり（収容）、返却の一連の流れを訓練した。また、ペット飼育者を対象に避難所のペット対策と日頃の飼育管理等の講習を行った。 なお、一般来場者へは、防災フェアにおいて、ペットの防災対策の資料等を展示し啓発した。

（４）補助犬診療費助成事業

社会に必要とされる補助犬（盲導犬・介助犬・聴導犬）、災害救助犬並びにセラピードッグ等の健康維持を主たる目的とし、診療費の助成及び専門家としての技術提供を行うことにより、社会に貢献した。

【実施実績】

事業内容	令和7年度	令和6年度
健康診断及び治療費助成	20 病院、28 頭、473,711 円	20 病院、24 頭、358,495 円

※ 助成額上限（1頭当たり）；身体障害者補助犬 30,000 円、災害救助犬並びにセラピードッグ 10,000 円 対象：開業会員病院

※ 別途掲載資料『令和7年度動物の保護活動関連助成一覧 補助犬診療費助成』参照。

（５）動物介在活動支援事業

動物介在教育（AAE）、動物介在活動（AAA）及び学校飼育動物指導等の活動に協力・支援を行っている。

【実施実績】

支部名	対象施設	回数	実施内容
千葉	病院・老人ホーム	31 回	人と動物のふれあい活動（CAPP 活動）
千葉	小学校	6 回	授業（動物介在教育）、診療
市川浦安	小学校	8 回	授業（動物介在教育）
京葉	小学校、市役所等	4 回	人と動物のふれあい活動（CAPP 活動）
京葉	幼稚園・小学校等	33 回	学校飼育動物訪問指導
東葛	小学校	1 回	飼育環境確認・飼育指導
東葛	図書館	9 回	わんわん読書会（動物介在教育）

公益目的事業２：学術の振興を目的とする事業

１．学会の開催及び参加

小動物・産業動物・公衆衛生の各分野で働く獣医師が、日頃の業務を通じて研究・調査した事例等を学会の場に報告し、意見交換を行い技術の伝達・普及を図ることを目的として千葉県獣医師会獣医学術年次大会を開催した。また、動物への適切な獣医療技術を提供し、動物の愛護、福祉の向上に寄与することを目的として、会員が他の団体等が主催する学会に参加し技術の習得に努めることを支援した。

（１）県獣医師会「獣医学術年次大会」（第 10 回）

開催状況	備 考
平成 27 年度から、従来の研究発表会と県獣学会を統合し、獣医学術年次大会として開催した。 ※県獣学会としては第 50 回目 研究発表 25 題 産業動物部門；7 題、公衆衛生部門；2 題、小動物臨床部門；16 題 ランチョンセミナー； 犬と猫の腎臓病ケア：近年のアップデートと新たなアプローチ ネスレ日本株式会社 ネスレ ピュリナ ペットケア ペットスペシャリティ事業統括部 高橋 里佳 先生 市民公開講座； “見る”だけじゃない、水族館のもう一つの仕事 水族館と保全活動 鴨川市シーワールド館長 勝俣 浩 先生 特別講演； 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）感染症の現状と対策、今後の展望 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 獣医科学部 前田 健 先生	令和 8 年 3 月 15 日（日） 場所： 専門学校ちば愛犬動物フラワー学園 千葉キャンパス N タワー N ホール AIK ホール 参加人数： 会場 264 名

（２）日獣・関獣連学術年次大会

開催・参加学会等	備 考
令和 7 年度関東・東京合同地区獣医師大会・三学会への参加	令和 7 年 9 月 7 日（日） （公社）山梨県獣医師会 アピオ甲府タワー館

収益を目的とする事業

1. 収益事業

(1) 獣医療証明書等販売収入

項 目		内 容	備 考
購 販 売	物品購販売収入	予防接種証明書 (A)	
		〃 (B)	
		動物用医薬品指示書	
		狂犬病予防接種済証	

(2) 施設等使用料

項 目		内 容	備 考
使 用 料	家 賃	(公財) 千葉県動物保護管理協会	県獣会館 3 階
		千葉市獣医師会	県獣会館 3 階
		サンリツセルコバ検査センター	県獣 1 階
	施設賃貸	県獣会館使用料等	会議室等

(3) 開業部会保険加入取扱手数料等

項 目		内 容	備 考
手 数 料	保険事務取扱手数料	獣医師損害賠償責任保険：	事務受託
		損保ジャパン日本興亜(株)	
		メットライフ生命保険(株)※任意加入	事務受託

(4) 千葉県産畜産物等流通販売収入

項 目		内 容	備 考
手 数 料	事務手数料	千葉県産畜産物品・加工品 イノシシ・シカ肉等加工品	販 売

2. 広告等掲載料

会報及び県獣医師会獣医学術年次大会要旨集に企業等からの協賛広告を掲載した。

会報：夏季号 20 件、春季号 14 件、大会要旨集：16 件

その他の事業

1. 開業部会相互扶助等活動事業

開業部会の円滑な運営、正会員の相互扶助及び親睦等を目的として次の事業を実施した。

種類等	内 容	目 的	実績等
1. 保険事業	獣医師賠償責任保険への加入	会員動物病院の敷地内及び建物内等で、受診目的で来院した動物に対して、病院スタッフの失宜もしくは診療事故等により損害を与えた場合に賠償する目的で加入する保険の掛け金を獣医師会で負担する。	損害保険ジャパン日本興亜㈱ 加入件数： 284 件
2. 福利厚生事業	慶弔事業	会員又は同居する一親等親族が死亡した場合に弔慰金の支給、献花、弔電を送る。	4 件
	緊急災厄支援事業	会員又は同居する一親等親族が非常の災厄に遭遇した場合に、規程により被災見舞金を支給する。	該当なし。
	療養等見舞金	A 及び C 会員が疾病又は事故のため 14 日以上入院、通院又は後遺症のため長期間診療業務に携わることができない場合、規程により、療養見舞金を支給する。	3 件
	遺児育英支援金	開業部会所属の正会員が死亡した場合、正会員と一親等の続柄にある満 20 歳以下の遺児に対して、規程により遺児育英支援金を支給する。(支給は 1 回限り)	該当なし。
3. 親睦事業	親睦活動の実施	開業部会会員が、相互の親睦と連帯を目的として行う行事に対して予算の範囲内で費用の一部を助成する。	9 月 6 日 (土) 甲府市「甲州焼肉奏」で親睦会開催。 32 名参加
4. 職業紹介事業	勤務獣医師・看護師等募集、紹介	勤務医及び動物看護師の不足解消を目的とし、千葉県内で就職を希望する獣医師及び動物看護師をホームページ、Web 等で募集し、会員病院に紹介する。	動物看護師合同就職説明会 ちば愛犬動物フラワー学園動物看護師コース 2 年生 2 月 19 日 (木) 22 病院参加、